



青き楓

島高だより
令和2年9月号
(通巻第174号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から

秋に鍛え、飛躍する

校長 渡邊 孝経

創立120周年記念青楓祭（体育祭・文化祭）が終わった。今年はコロナ禍にあって、さまざまな制限をかけての実施だった。直前の大型台風接近にともない、体育祭は一日前倒しで実施したが、当日は快晴に恵まれ、さわやかな風の中、まさに体育祭日和であった。とはいえ、たださえ短い準備期間をさらに短くしたことで、3年生のリーダーたちには大変な苦労をかけたのではないかと考えている。

次に、文化祭は演じる者と観る者が一体となって作りあげるものだと思うが、観客の入場制限を行ったため、例年に比べて観客の少ない中での実施であった。しかし、演じる者も観る者も立派な態度で文化祭を盛り上げてくれた。その節度ある態度に対し、あらためて君たちを誇りに思うことができた。

限られた時間の中で、最大の努力をし、最高のものをつくりあげた島高生に心からの讃辞とお礼を言いたい。「素晴らしかった。そしてありがとう。」

「島高の教育は教師の教育力と先輩の教育力の統合である。」と言われている。まさにそのことを認識させられた青楓祭であった。

さて、いよいよ秋となり、3年生にとっては、大学受験に向けてラストスパートの時期となった。一挙に緊張感を高め、やるしかないという覚悟をもって、日々生活して欲しい。しかし、「本当に伸びているのだろうか、模試の結果もあまりよくなかった。」など不安の高まる時期でもある。そういう時こそ、クラスメートや部活の仲間を見るとよい。同じ思いをみんながしているのだ。大変なのは自分だけじゃない。やるしかない。

2年生は、高校生活後半のスタートである。いろいろな場面で学校の中心となって活気ある生活を送って欲しい。まずは、中間考査に向けて万全の準備をして臨むことである。進路に関しては「やりたいこと、なりたいこと」そして、どのような方法や手順で実現しようとするのかを明確にしていく時期である。また、しっかり相談できる人を作って欲しい時期でもある。

1年生にとっては、この秋に学力の差が出る。この時期に培った学力がそのまま高校3年間のベースになるということを肝に銘じて欲しい。やらなければならないことは確実にやり切る習慣を身につけて欲しい。学習と部活動などとそれ以外のことを、どう切り替えて生活していくかがポイントである。

毎年、入学式等で「この古城の森の学舎が、3年間の鍛錬の場になる」に言い続けてきた。この秋が、君たちの大いなる飛躍のための、鍛錬の時になることを望んでいる。

10月のおもな行事予定

- | | |
|---|----------------------------|
| 1日（木）～6日（火）学年末考査（3年）
中間考査（1・2年）1年は2日（金）～ | 24日（土）進研実力（1・2年）進研マーク（3年） |
| 6日（火）進路講演会（1・2年） | 25日（日）進研実力（2年）進研マーク（3年） |
| 8日（木）早朝補習再開
3年生激励会（共通テスト100日前） | 26日（月）週休日振替（10/31 120周年式典） |
| 10日（土）～11日（日）進研記述（3年） | 27日（火）薬物乱用防止教室 |
| 20日（火）地学巡検（1年理数科） | 28日（水）地震防災避難訓練 |
| | 29日（木）駅伝壮行会 |
| | 31日（土）創立120周年記念式典 |



創立120周年 令和2年度第72回青楓祭

前へ！新時代の旗手～誇り高き伝統、さらなる飛躍～

体育祭 9/5(土)

体育祭成績

【競技の部】優勝：3班 第2位：4班 第3位：2班
【応援の部】優勝：5班 第2位：1班 第3位：4班

私たち3班は競技の部で優勝しました。全学年一人ひとりが競技で全力を出し切ったおかげだと思います。最高の120周年体育祭になりました。

3班班長 柴田陸

優勝できて嬉しかったです。みんなが遅くまで残って協力してくれたからこそ勝てました。1、2年生のみなさんついてきてくれてありがとう。

5班リーダー長 佐藤時生



文化祭 9/12(土)・13(日)

文化部やクラスの発表、展示も生徒一人ひとりが真剣に取り組むことで盛り上がり、コロナウィルス感染対策を取りつつも120周年にふさわしい最高の文化祭になりました。ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。

常任委員長 松本 一輝

